

# 平和への一歩

波多野 初

私が今回の平和祈念式典に参加しようと思つたきつかけは、昔、日本になぜ原爆が落とされたもまたのかや広島に落ちた原爆でどのくらいの人が犠牲になつてしまつたのか、学びたいと思い参加しようと思いました。

私が式典に出て、一番心に残つたことは、世界各國の人達が平和についての意見を共有

していいたことです。世界の人達が意見を交換することができなかつたら、まだたくさんの国が戦争をやつているかもしません。そのために、これからも世界の人達が集まつて、平和について考えることが大切になります。

実際に、平和資料館などに行つて学んだことは、広島に落とされた原爆で広島市民、三十五万人いたうちの十四万人が、放射のうや、やけどによつて死んでしまつたことや、現在

でも、原爆にあってしまった多くの被爆者の方が放射のうによる、はけつ病で死んでしまっています。

また、室内にいても放射のうがかべを通じて室内に入る人も被害を受けてしまったそうです。

他にも、平和資料館では、全身やけじを負ってしまった人の写真や、原爆が落とされた時の人の影が焼け映してしまっていました。多くのものが展示されていました。

写真だけではなく、三輪車などの実物もありました。

その三輪車は、三歳の子が遊んでいたもので、その子のお父さんが平和資料館に寄贈しました。

私がつことができました。私達は、被爆者のむすめさんにお話をうたものでした。

その方は、原爆が投下された時には、まだ生まれてなく、お母さんのお腹にいたそうですが。そして、その方からは、原爆の爆風の被

害のはん団や、放射のうの遺伝の話などもくわしく教えていただきました。

また、私達からの質問にも答えていただきました。

このようにして、世界の人達が平和についての意見を交換したり、戦争を知らない人に戦争の悲惨さを語り続けていたりすることは、世界を平和にするための一歩だと思います。この一歩をこれからもずっと続けていけば、核を持つ国もなくなり、紛争をする国もなくなると思します。